

日本赤十字社をとおした国際交流への参加について

1 シンガポール赤十字社とのオンライン交流の概要

(1) 参加までの経緯

日本赤十字社神奈川県支部を通じて、異文化交流に関する講演会の依頼を行った。その過程で日本赤十字社神奈川県支部より各種の活動への参加募集の案内をいただいた。その中で11月に実施されたシンガポール赤十字社とのオンライン交流に参加した。

(2) 実施日時 令和4年11月23日(水) 15時00分～17時00分

(3) 参加生徒 2学年の生徒2名

(4) 参加の形態 学校のタブレットを利用し、Zoomを使ったオンライン交流

(5) 生徒の活動内容

- ・他校の生徒による日本文化の紹介
- ・他校の生徒による気候変動に関する現状や課題の発表

<以後、グループに分かれた活動>

- ・自己紹介
- ・「気候変動に関する現状や課題」の発表を聞き

●気候変動に関することについて質問

●自分たちはなにができるのか

を英語で表現した。

2 参加した生徒の感想

○はじめに日本の文化や食べ物について発表があり、その後、シンガポールから伝統的な衣装や場所について、ビデオを交えながら発表してくれました。発表内容は、非常に興味深いもので、日本とシンガポールの両国について新たな発見が多かったです。

私にとって英語のコミュニケーションはまだまだ難しいところが多くありますが、積極的に会話することの大切さ、フレンドリーに話しかけることの大切さも学んだ気がします。交流会直前での参加希望にも関わらず、快く受け入れていただいた日本赤十字社、シンガポール赤十字社の皆さまに感謝しています。またこのような交流の機会をいただけましたら、大変嬉しいです。次の機会では今回の自分を超越する超えられるように頑張りたいです。

○今まで、高校生同志の交流の経験はありますが、今回のように大きな団体を通して交流するのは初めてだったのでとても緊張しました。実際に交流してみると、文化の違い等、身近な話題からはじまり、緊張も直ぐにとけました。皆さんが、とてもフレンドリーで話しやすく、気持ちも落ち着きました。自分の英会話力が通じるかも不安でしたが、参加者皆さんが優しくフォローしてくださり、安心してコミュニケーションをとることができました。

3 今後の展望

令和4年度は、青少年赤十字登録を年度途中で行ったため、日本赤十字社の様々な催しを十分に生徒へ連絡することが出来なかった。

令和5年度は、日本赤十字社の催しを広く生徒に伝えるよう事前準備を図り、姉妹校等の交流に参加している生徒を中心に、部活動も含めてより多くの生徒が参加するようにしたい。